



火の見櫓

(題字は、大松八尾市長)

発行所

八尾市消防団

発行責任者

八尾市消防団長

松村 康正

八尾市高美町5-3-4

TEL(072)992-0119

FAX(072)992-7722

刊行物番号R6-47



第68回大阪府消防大会



大阪府消防大会ポンプ車操法の部 出場

私たち八尾市消防団北西方面隊は、令和6年9月8日(日)に行われる大阪府消防大会に向けて訓練を行ってきました。

ポンプ操法では6名1チームでポンプ車を操作して防火水槽から吸水、素早い連携でホースを火点の的まで伸ばし放水し、的を落とすまでのタイムや動作の正確性、安全性を競います。

月曜日と木曜日の週二回全40回以上に及ぶ過酷な訓練を重ね技術の習得、士気の向上だけでなく、団員同士はもちろん消防職員や消防団OBとの交流を深める良い機会にもなりました。

訓練期間はあっという間に過ぎ、いよいよ大会当日を迎えました。優勝という目標には届きませんでしたが、この経験は何物にも代えがたい貴重なものになったでしょう。また、個人の部で2番員優秀選手賞を岡田団員が勝ち取ることができました。今後の消防団活動はもとより、個々の知識技術の向上、団員同士の結束力強化に繋がる大きな収穫を得たことと思います。

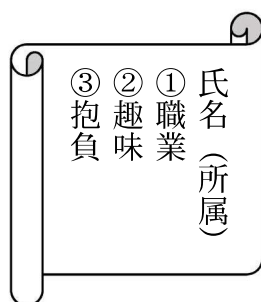
選手の皆様、酷暑の中での操法訓練、最後まで精一杯取り組みました姿に感動致しました。本当にお疲れ様でした。

◆(久宝寺分団)

松田 孝志

新団員の紹介

令和6年度に消防団員の任命を受けた、22名の新団員の皆さんにこれから抱負について伺いました。



平塚 和彦(西郡)
① 会社員
② ゴルフ
③ 地域が安全であるために頑張ります。



栗田 広宣(西郡)
① 自営業
② 多彩
③ 地域の若い力が必要な消防団なので、これから若い人に消防団に入ってもらえるようにしていきたいです。



荒井 宏(西郡)
① 会社員
② カラオケ
③ 地域の安全を守り、地域防災活動を主にやってきたいです。



小野 正彦(曙川)
① 電気通信
② 旅行
③ 少しでも地域に貢献出来るように頑張ります。



西村 光弘(曙川)
① 個人タクシー運転手
② スノーボード
③ 先祖代々住み暮らしているこの地の為に、少しでも貢献できるように、頑張っています。



嶋村 拓都(大正)
① 医療従事者
② 水泳
③ 消防団員として1日でも早く先輩方の力になれるように頑張ります。



野村 武司(大正)
① 会社員
② カラオケ
③ 消防団員として1日でも早く地域に貢献できるように頑張ります。



甲斐 晃生(八尾)
① 飲食業
② 食べ歩き、旅行
③ 地域の方に安心安全に暮らして貰えるように防火や地域活動を頑張りたいです。



宮崎 圭太(高安)
① 造園業
② ゴルフ
③ 役に立てるよう頑張ります。



西田 希(高安)
① 会社員
② ゴルフ
③ 頑張ります。



樋口 暉生(高安)
① 植木屋
② 格闘技
③ 地域のために少しでも役に立てるよう頑張ります。



谷山 英幸(高安)
① 製造業
② 野球観戦
③ 自分の生まれ育った八尾市で消防団員として地域貢献できるように頑張っています。



小山 啓吾(曙川)
① 自営業
② 釣り
③ 社会貢献



丸橋 貴洋(山本)
① 製造業
② 野球
③ 少しでも地域に貢献出来るように、頑張りたいと思います。



高橋 賢太(山本)
① 建築業
② 食事
③ 消防団員として、「人の命を守りたい」が一番の気持ちです。これから、現場での消火活動や救助活動に全力で取り組みたいと思います。



山上 達也(山本)
① JA職員
② 読書
③ 消防団員として、人々を守り、地域のために貢献できるように、一生懸命頑張っていきたいとおもいます。



西田 幸司(山本)
① 会社員
② サッカー
③ 地域の八尾で社会貢献がしたくて入団しました。これから頑張っていきたいと思います。



森田 真司(山本)
① 会社員
② 無
③ 地域の役に立てる様に頑張っていきたいと思います。



③ ② ①
松下 智恵 (女性)
公務員
旅行、ドライブ
たくさん、学び、ま
た積極的に活動に参
加し、地域に貢献で
きるよう頑張ります。



③ ② ①
友田 洋平 (志紀)
カイロプラクター
キャンプ
生まれ育った八尾市
で、消防団員として
少しでも地域に貢献
できるように頑張ら
ます。



③ ② ①
坪山 秀俊 (志紀)
読売新聞
魚釣り
生まれ育った地域の
お役に立てる様、精
進していきます。



③ ② ①
窪田 進 (志紀)
会社員
ドライブ、観光
子育ても一段落つき
以前勤めていた会社
を辞めて近くの会社
に就職して何か新し
い事にチャレンジし
たかったので消防団
に入団させて頂きま
した。1日でも早く
皆さんのお役に立て
るように頑張ってい
きたいです。



令和6年4月1日(月)、昨年とは場所が異なり消防本部1階研修場にて八尾市消防団員任命式が挙行されました。午後5時30分より入団者、昇任者、そして退団者のリハーサルが行われました。午後7時より開式され、大松市長からの祝辞をいただき、八尾市消防団で長年に渡り活躍され、昨年度末で退団された退団者に感謝状が贈呈され、今年度より幹部に昇任された団員に対し辞令が交付されました。続いて新戦力となる新入団員に対しても辞令が交付されました。

令和6年度 消防団員任命式

八尾市議会副議長から祝辞をいただき、松村団長から退団者への労いの言葉と昇任者、新団員への激励の言葉をいただきました。

式典の最後には、新入団員の代表として、高安分団の宮崎団員が「誓いの言葉」を松村団長へ伝え、式典終了となりました。山本分団としては藍授褒章を受章された石井前分団長を含め5名の団員が退団され、新しく5名の団員が入団しました。戦力的な低下は避けられませんが、山本分団は4分隊で構成されています。今までは各分隊で対処してきましたが、今後は分団として戦力低下を補う様に助け合い、全団員が自分達の住む地域が安全で安心して暮らせるように消防団活動を精進していきます。

◆(山本分団 川西 明)



この小型動力ポンプ積載車は、道路狭隘地域において機動性が発揮できるように車体寸法を小さくした車両で、後部片側に吸管を装備し、上枠付軽量ホースカー、二連はしごを搭載しています。

八尾分団として訓練を通してこの車両の性能、特性をよく理解し誰もが操作出来るよう日々訓練に邁進していきたいと思えます。

八尾分団(萱振分隊) 新車紹介

◆(八尾分団 中村道弘)

車両寸法
全長: 5,220 mm
全幅: 1,760 mm
全高: 2,200 mm
車両総重量: 3,120 kg

積載資機材
可搬ポンプ(B-2級)
吸水管1本
2連梯子
エンジンカッター
チェーンソー
発電機
照明装置一式



恩智川水防訓練

令和6年4月27日(土)、恩智川水防訓練が東大阪市花園中央公園にて行われ、東大阪市と八尾市の職員及び消防団員総勢約120名が参加しました。

訓練は、豪雨により恩智川の水位が上昇し堤防より溢水したとの想定で、水防作業の技術向上と体制強化等を目的として行われました。私たち北東方面隊は、女性分団と共に積土の工法訓練を行いました。川裏側の堤防のり面が崩壊した時、またはのり崩れの恐れがある時に、のり面の下部に土のうを積み被害の拡大を防止する工法です。



土のう袋にスコップで2〜3杯くらいの土を入れ、それを運び下流側から並べ、土のう同士の隙間には、いしみと一輪車で土を運び敷き詰め、少し離して小口積みで土のうを並べ、その上を叩き締めていくような作業をしました。訓練はみなさん積極的に動き、良い経験のできる訓練になったと思いました。

私はどの団員も現場で活躍できそうな訓練を行うのが良いと思っています。そのためには訓練をしたという実績のためではなく、できるようにすることが目的として訓練を行なっていくことが大事なのではないかと思っています。

◆(高安分団 竹本 亮太)

基礎教育訓練(A・B課程)

大東市にある大阪府立消防学校で、基礎(初任)教育訓練課程が、令和6年5月19日(日)と、6月9日(日)の2日間実施されました。その様子をお伝えします。

A課程では、安全管理・訓練礼式・器具取扱・放水訓練を学び、B課程では、ロープ結索・泥歩行訓練・搬送法・火災防御の訓練を行いました。

A課程での野村団員の放水訓練での感想です。

「筒先の取扱いは、手の向きを間違えただけで、放水が目掛けたところに届かず、難しい思いをしました。」



◆(大正分団 今仲幹夫 山内聡)

訓練の感想です。

「長靴を履いての泥歩行は足をとられ歩きづらかった」とのことと、災害現場での身動きをとることの難しさを感じる事ができたと思います。」

新入団員はこの2日間の訓練で、消防団活動に必要なスキルを学び、非常に貴重な時間を過ごすことができたと思います。

今回の訓練で学んだことを活かし、今後の消防団活動での活躍を期待しています。

私達も後進を指導していく為には、日頃の活動が大切であることを改めて感じました。



木村長門之守重成公祭礼

令和6年5月25日(土)幸町第一公園にて、木村長門之守重成公祭礼が行われました。天候も良く各諸団体や地域の方々関係者等を招き参拝していただきました。

毎年恒例になりました「大阪城赤備隊」の甲冑姿や、「西郡地車保存会」にはだんじりを持って来ていただき花を添えて頂きました。

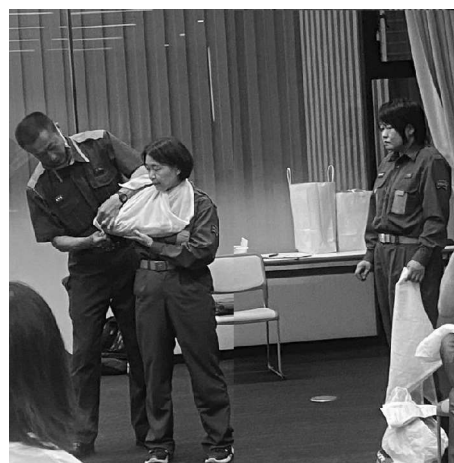
また午後からは夜店も出て天神囃子を響き渡らせて子供から大人まで遅くまで賑わっていました。



慶長19年1614年の大坂冬の陣で徳川家康は豊臣方との和睦を選択、その際に豊臣秀頼の正使として出向いたのが木村重成。

徳川方との和睦の調印に際して物怖じせずに家康に血判が薄いと指摘をして再度の血判を求め、居合わせた諸将らはその堂々とした木村重成の様子に驚いた、という逸話も残っています。

◆(西郡分団 平木 康晴)
(西郡分団 荒井 宏)



普通救命講習

令和6年5月25日(土)あけぼのこども園に普通救命講習を実施するため、救急課職員と女性団員2名で出動しました。

普通救命講習は、女性分団の活動の中でも特に普段から気合を入れて取り組んでおり、この日の職員の意気込みはいつも以上でした。なぜなら経験豊富な職員が、講習テキストにぎっしり書き込んで指導に臨もうとされていたからです。

気を引き締めて講習を開始しましたが、この日は若い世代の保育士さんを前にして職員の顔も緩みがち。新たな一面を発見しました(笑)通常の講習では主に胸骨圧迫とAEDの使用方法を指導するのですが、併せて今回は、三角巾で止血や腕の骨折を固定する方法も指導しました。

皆さんも初めての事で、好評でしたので、今後も通常指導に取り入れていく所存です。こちらの園では勤務の一貫として毎年保育士全員が講習を受講されています。昨年の講習を思い出しながら、しっかり講習を受けていただきました。一度の講習ではなかなか習得できず忘れてしまうので、こちらの園のように毎年継続して受講していただきたいです。

更に、普段から普通救命に関わる方だけではなく、いざという時に誰でも応急処置が出来るように沢山の皆さんに受講していただきたいと思います。

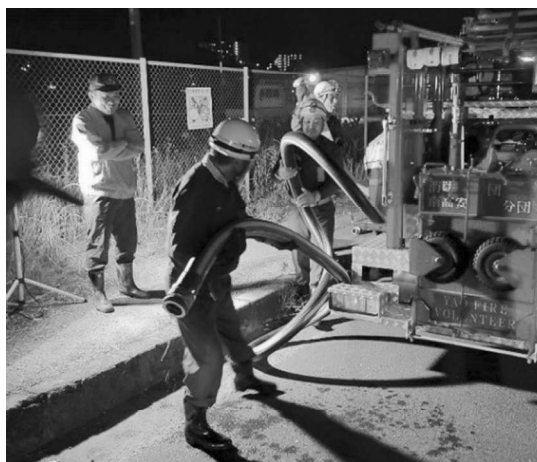
私達女性分団は救える命のため、今後も経験を積み指導のレベル向上に努めて参ります。

◆(女性分団 武下真弓)



南高安分団合同訓練

令和6年6月1日(土)、南高安分団で合同訓練を行いました。訓練内容としては、火災発生時の出動訓練です。火災発生場所を予め決めておき、各分団が屯所から出動し、消火活動を行う訓練で、この訓練のチェック項目としては、出動前の装備品の確認、消火栓位置の確認、移動時の役割分担の決定、各操作の安全確認の徹底です。現場では、第一部隊がホースカーを使用して分岐金具を結合して1線2口延長し、第二部隊が車輛から1線2口延長して操作を行いました。



最後に坂本副分団長より総括として「各分団の選手が落ち着いて操法が出来ていました。火災現場では焦りや不安、気の動転など必ずあるものですが、この訓練を思い出し、落ち着いて安全に操法を行なって下さい。」とお言葉を頂き、訓練を終了しました。

◆(南高安分団 巽純也)

地域フエスタ亀井小学校校区

令和6年6月2日(日)「地域フエスタ亀井小学校区」が亀井小学校にて開催され、龍華分団も消防署と合同で参加しました。



消防ブースは、子供用の防火服・ヘルメットの試着、パネル撮影、消防車両の展示・試乗、プールでの放水体験などを用意し、多くのお子様や来場された方々に興味を持っていただき、様々な体験をしてもらい大盛況でした。

また、当日は消防団員募集の啓発活動も行いました。多くの方々は消防団の活動についてあまり認識がなく、活動内容等を説明すると驚かれていました。これからは、もっと消防団としての活動や存在を地域に向けてアピールし、積極的に地域の方々との交流を深め、「自分たちの地域は自分たちで守る」ことの大切さを伝えていくことが重要だと思いました。

龍華分団は11名の団員が在籍しています。各々が職業を持ちながらも「地域の安全を守る」ことを使命とし、日々活動しています。



令和6年6月24日(月)、管内の八尾木北第一公園にて新団員向けの放水訓練を実施しました。曙川分団では定期的な放水訓練等を行っており、今回の訓練が新団員を含めた初の全体訓練となりました。

新団員向け放水訓練実施

◆(龍華分団 佐々木祐介)

これから何か始めたいとお考えの方や地域活動に参加したい方、地域に貢献したい方、入団をお待ちしています。



新しく入団となった3名を中心に積載車の装備内容や揚水操作の基礎的な説明とホース延長から放水までの一連の流れを安全確認を含めて訓練してもらいました。実際にホースを延長してもらい目標にめがけて放水をし、低圧力と通常の圧力での水圧の違いを身をもって体験してもらいました。

また、既存団員も新団員の補助として訓練に参加してもらい操作や知識の確認にもなりました。いつ発生するかわからない災害に備え、こういった定期的な自主訓練により、新団員はもちろんのこと既存団員も含めた操作技術や知識の向上に努め、全体的なレベルの底上げに繋がるように努めてまいります。

◆(曙川分団 岩元雄亮)



中河内地区支部 消防総合訓練

7月28日(日)モリタATIセンター様のご厚意により訓練用の新施設を提供していただき中河内地区支部消防総合訓練を開催しました。
猛暑の中、八尾市・東大阪市・柏原市の消防団総勢155名が参加しました。



メインの操法訓練では大阪府消防操法訓練大会に向けて数ヶ月前から積み重ねてきた訓練の成果を柏原市消防団の選手による小型ポンプ操法、八尾市消防団の選手によるポンプ車操法をお披露目させていただく事ができました。近年、地球温暖化の影響による大雨、暴風等の災害が世界中で起こっています。日本では今後、南海トラフ巨大地震の発生も予想されることから消防団一人ひとりが防災意識を高め、より災害に備えなければならぬと感じた消防総合訓練となりました。

◆(志紀分団 藤木達哉)

第68回大阪府 消防大会を終えて



指揮者
中川 良和

指揮者として出場させていただく予定でしたが、当日は残念ながら所用で参加できませんでした。本部の方々からの指導を受け、少しずつ形になっていくのを実感し、徐々に自信がつき、「出来る」と感じる様になっていきました。目標としていた結果には至りませんでしたが、今回の練習を今後の消防活動に活かして頑張っていきたいと思えます。



1 番員
西川 尊之

1 番員として出場させて頂きました。この大会を通じて本当に貴重な経験をさせて頂きました。仕事で疲れていても一回一回の訓練をサポートして頂いた皆さんに本当に感謝しています。残念な形で終わりましたが、この経験を今後の消防活動に活かしたいと思えます。



2 番員
岡田 素之

2 番員として出場いたしました。理想の走法がうまく出来ず、基準タイムもクリア出来ない時、訓練後の反省会や自主練にも皆さんに付き合ってくれて貰い、なんとか形になっていきました。目標としていた優勝には手が届きませんでした。この訓練を通じて、北西方面隊の団結力は最高に高まったと思います。



3 番員
吉田 弘樹

3 番員として出場させていただきました。今までにない経験で、最後まで乗り切れるか不安がありました。周りの皆さんに支えられ無事、走り切ることができました。また学生時代とは違い、社会に出てからこの様にチームとして取り組むことがなかったのも、貴重な経験をさせていただきました。悔しい結果とはなりませんがこの気持ちをお忘れずに頑張っていきたいと思えます。今までにない最高の夏でした！



4 番員
堂田 隆治

八尾市消防団4番員を務めました。消防団操法大会ですが、この先どうなるのか問題視されています。やり遂げる事が出来たのは、分団を越えたいいろいろな人との繋がり、選手のみでは達成出来ない事だと感じています。この繋がりはこれからの団活動の自信となり、礎となつて地域活動を行う事が出来ると思います。優勝は逃してしまいましたが、全40回の本気の訓練、すべての人達がいたから頑張れました。



補助員
竹田 英夫

ポンプ車操法の補助員として出場させていただきました。訓練中には、他方団からの応援、差し入れ、本部からの激励など沢山の支えもあり皆様のおかげで、今回のポンプ車操法を無事終える事が出来ました。結果は伴わず悔しいものとなりましたが、消防団活動はもろの事、社会勉強にもなったと思います。今後も消防団活動を通じて、色

々な経験を積み邁進して参ります。



指揮者
藤原 道洋

今回代役として指揮者を務めました。急遽交代致しましたが選手の方々の協力のもと無事大会を終えることが出来ました。今後も臨機応変に対応出来る様何事にも気を引き締めて臨みたいと思えます。

広報部員名簿

委員長

高安分団 竹内 孝太郎

副委員長

曙川分団 宮原 雄真

南高安分団 巽 純也

委員

久宝寺分団 岩本 暢宏・松田 孝志

西部分団 平木 康晴・荒井 宏

八尾分団 竹田 英夫・中村 道弘

龍華分団 佐々木 裕介・山崎 聡

大正分団 今仲 幹夫・山内 聡

曙川分団 岩本 雄亮

南高安分団 馬谷 康大

高安分団 竹本 亮太

山本分団 川西 明・藤本 雄太

志紀分団 藤木 達哉・井形 肇